

シグマ研究委員会

63年度第2回運営委員会議事録

日時 昭和63年7月1日(金) 13:30-17:30

場所 原研本部 第3会議室

出席者

中嶋(法大)、村田(NAIG)、五十嵐、長谷川、水本(原研)

幹事: 浅見、中川(原研)

オブザーバー: 飯島(NAIG)、菊池(原研)、瑞慶覧(日立)

配付資料

1. 63年度第1回運営委員会議事録(案)
2. シグマ研究委員会会合開催状況
3. ACTION LIST
4. 核データ国際会議登録状況
5. International Symposium on Nuclear Decay Data: Spectrometric Methods, Measurements and Evaluations
6. NEAデータバンク第12回運営委員会
7. シグマ特別専門委員会名簿(案)
8. Cierjacks氏から五十嵐氏宛手紙(写し)
9. Informal Discussion of Cooperation on Evaluation
10. シグマ特別専門/研究委員会議題(案)
11. 「30周年記念特集号」目次案
12. 第3期第3回諮問・調整委員会議事メモ
13. 医学用原子分子・核データWGに関する小委員会メモ
14. 1988年核データ研究会開催要項(案)
15. 核データ・炉物理合同特別会合(案)

議事

1. 前回議事録確認

資料1により確認を行った。

2. 事務局報告

(1) Action List: 前回会合に関するAction List(資料3)の説明とともに宿題事項の処理状況について説明があった。

(2) WG会合開催状況報告: 資料2により報告があった。

3. 核データ国際会議報告

五十嵐氏から、この国際会議への各委員の協力についての感謝とともに資料

4により参加者数・発表論文の件数等について説明があった後、反省点等について意見交換が行われた。

4. International Symposium on Nuclear Decay Data

五十嵐氏から資料5により1989年6月に行われる標記会議の紹介とともに、この資料を核構造・崩壊データ専門部会に配布したとの説明があった。

5. NEAデータバンク第12回運営委員会報告

五十嵐氏から資料6により、標記会合についての報告があった。その中で支援業務の実体、1989年度事業計画についての説明ならびにその後で訪問したIAEA核データ部門での話し合い事項等の説明があった。

6. 諮問・調整委員会報告

楢山氏に代わって五十嵐氏から、資料12によって6月27日の会合の概要とともに核データ評価の国際協力についてのA.B. Smith氏への返答案について説明があり、討議を行った。この討議結果を楢山氏に伝えて7月8日の本委員会用の資料を作成してもらうとともに資料12を諮問・調整委員全員に配布することにした。

7. 医学用データに関するad-hoc委員会報告

中嶋氏から資料13により、これまでの2回の会合の概要ならびに問題点についての説明とともに現在の医学用原子分子・原子核データWGを調査専門の常置グループとする案が示された。今後は個別に各委員の意見を聞き答申案をまとめるとのことであった。

8. モノグラフ作成への参加依頼

五十嵐氏から資料8により中性子源に関するモノグラフの作成への参加についての依頼の紹介があり、候補者がいたら五十嵐氏または水本氏に連絡して欲しいとのことであった。

9. 本委員名簿

本委員会に提出する本委員会（シグマ特別専門委員会）の名簿案（資料7）について浅見氏から説明があり了承された。

10. 63年度核データ研究会

瑞慶覧氏から、資料14により核データ研究会準備委員会での検討結果について説明があり討議を行った。会期を12月8日（木）、9日（金）とし、詳細は次の準備委で決める等の説明があった。議論の中で、この時期にJENDL-3の議論をしているのでは遅すぎる、断面積の誤差評価をとり上げて欲しい等の意見があった。

11. 原子力学会特別会合

中川氏から資料15により、次回学会での特別会合の案について説明があ

り、講演時間の調整を行って了承された。

12. 核データ評価の国際協力について

資料9により五十嵐氏から、先般、水戸での核データ国際会議の際に行った核データ評価の国際協力についてのインフォーマル会合の概要とともに、この会合の切っ掛けとなった資料・交換文書の説明があり、これらについてコメントを出して欲しいとの要請があった。

13. 本委員会の準備について

五十嵐氏より資料10により、7月8日の本委員会の議事次第について説明があり了承された。

14. 原子力学会30周年記念特別号の執筆について

菊池氏から資料11により、執筆依頼の概要とともに原稿の締切が8月末との説明があった。また、編集委員からとして、欧文誌への投稿が少ないので積極的に応募して欲しいとの要請があった。

15. その他

Action List作成のために、今会合での宿題事項等の整理・確認を行った。詳細は添付のAction Listの通り。

また、専門部会の今後の計画の検討の必要性ならびにその討議方法について議論を行い、次回にJENDL-3以降の具体的テーマおよび組織について議論することにした。

次回は8月26日（金）または9月2日（金）とすることにした。

ACTION LIST (63年7月1日運営委員会)

(敬称略、順不同)

	担当者	作業内容	期限
1	事務局	楢山氏に資料12についての運営委員会のコメントを伝え、本委員会用の諮問・調整委員会答申の資料を作成してもらう。また資料12を諮問・調整委員会委員に送付する。	至急
2	中嶋 龍三(法大)	医学用データad-hoc委員会の答申案を作成して次回または次々回の運営委員会に諮る。	次回または次々回までに
3	中川 庸雄(原研)	資料15について炉物理委員会委員長(金子義彦氏)の意見を聞くとともに了解をとる。	早急
4	事務局	本委員会(7月8日)での報告予定者に連絡して依頼する。	至急
5	事務局	運営委員会のこれまでの検討事項でフォローしてないものを調べてリストアップする。	次回までに
6	核データセンター	核データ評価についての国際協力の検討のための小グループの設置について検討する。	次回までに